

# 汚職疑惑事件の捜査が広がるブラジル政界 ～改革路線への影響が注目される～

国営石油会社に端を発する汚職疑惑事件の究明が続くブラジルでは、大手建設会社元幹部などからの供述に基づき、テメル政権の官房長官や外相などの閣僚、連立与党党首といった有力者を含む与野党の政治家など98人に対して、贈収賄などの疑いで捜査を行なうことを最高裁が許可しました。しかも、大統領特権で捜査対象とはならないものの、テメル氏についても、供述の中で名前が挙がるなど、疑惑がつきまとっています。こうしたことなどから、政局が不安定さを増し、年金改革法案の審議に悪影響が及びかねないとの懸念が台頭しており、昨年以降、回復傾向にあったブラジル・レアルの上値がここにきて重くなっています。

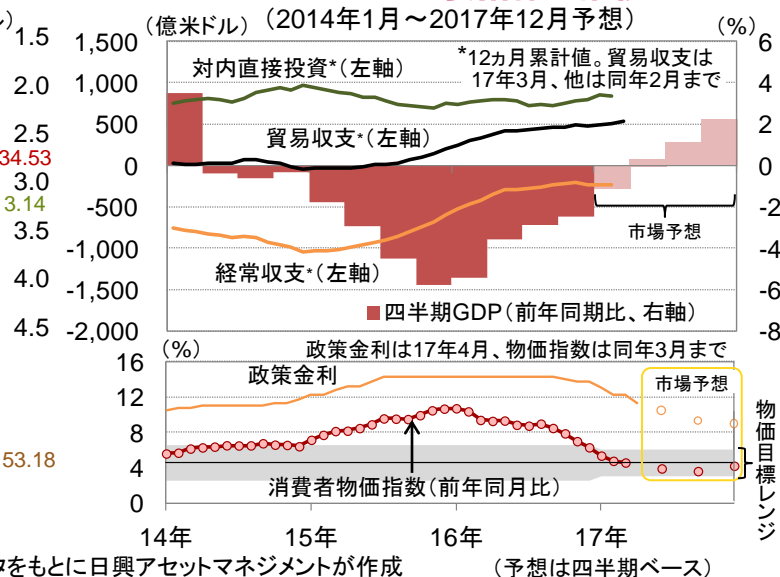
昨年の歳出上限法の成立に続く年金改革への取り組みは、財政の長期的な安定化に向けて必要不可欠とされ、市場で非常に注目を集めています。受給開始年齢の引き上げなど、国民に痛みを強いる面もあり、審議は一筋縄ではいかないと従来からみられてきました。ただし、同法案が通らないようなことになれば、ブラジルは投資家からの信頼を失い、持ち直しつつある景気が市場の動揺などを通じて再度、下振れする恐れがあります。また、2018年には議会選挙および大統領選挙が控えていることもあり、今のうちに年金改革法案を可決し、市場の動揺や景気の下振れを回避するだけでなく、改革に伴う国民の不満をテメル政権に負わせるのが得策と考える政治家も少なくない模様です(なお、テメル氏は、2018年の大統領選挙には出馬せず、大統領の任期が切れる同年末に退陣する意向を表明済み)。こうしたことなどから、改革案は、ある程度の修正や審議の遅れなど紆余曲折を経ても、最終的には成立にこぎつけると期待されてきました。しかし、今後は政局の不安定さが一段と増すとみられ、改革に向けた取り組みへの影響の有無や大きさが注目されます。

資源価格の持ち直しや世界景気の加速見通しなどもあり、ブラジルの景気や経常収支は最悪期を脱し、改善を見せています。また、物価の落ち着きを受けて利下げが継続されていることもあり、景気はさらに改善を続けると見込まれます。一方、政治面では、今後も不安定な状況が続くとみられ、市場の動揺につながることも考えられます。しかし、財政健全化に向けた年金改革への取り組みが継続されるようであれば、相対的に高い金利水準という魅力もあり、ブラジルは世界の投資家の関心を今後も集めると見込まれます。

## ブラジル・レアルと原油価格の推移



## ブラジルの主要指標の推移



※上記は過去のものおよび予想であり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。